



平成 25 年度 研究会オープンマインドなすの会 活動報告

第 55 回（総会） 2013 年 8 月 24 日（土） 量的研究入門	福島県立医科大学 看護学部 療養支援看護学部門 坂本 祐子先生	難しい印象を覚える『量的研究』ですが、数値で表現されたデータに基づく研究であるため、客観的に現象を分析することができ、統計的手法によって一般性が根拠づけられる利点があります。統計的分析について基礎の部分をお話いただきました。
第 56 回 2013 年 11 月 2 日（土） 看護場面に活かす アサーティブ コミュニケーション	福島県立医科大学 看護学部 家族看護学部門 加藤 郁子先生	相手の意見を大事にして、その上で自分の主張を伝えるアサーティブコミュニケーション。相手とともに自分の表現も大事にするコミュニケーション手法であるため、コミュニケーションを円滑にすることができます。看護に活かすことができるアサーティブについて御講演いただきました。
第 57 回 2014 年 3 月 29 日（土） 家族看護って どういうこと？	福島県立医科大学 看護学部 家族看護学部門 畠山 とも子先生	これまで、ご家族は患者さんの療養を支援するため、協力してもらう“資源”でした。家族をマンパワーとして捉えていました。しかし、『家族も患者さんと同じく看護の対象である』という考えが必要とされています。家族もまた看護を必要としている、看護の対象者であることに気付いた講演会でした。
第 58 回 2014 年 6 月 7 日（土） 超入門 検定の基礎	福島県立医科大学 看護学部 基礎看護学部門 丸山 育子先生	量的な研究をするために必要となる検定について、身近にある『エクセル』を用いながら御講演いただきました。アンケートの項目の集計方法について、エクセルを使うとポーンと計算してくれることがよく分かりました。量的研究の検定を理解するのはなかなか困難ですが、講演をきっかけにその入口に立てたのではないかと思います。

毎年 7・8 月より新年度が開始となります。